

環境経営レポート

令和3年7月～令和4年6月



令和4年7月5日作成



目次

1. 組織の概要	1
位置図	2
2. 環境経営理念	3
3. 環境経営方針	3
組織図及び役割	4
4. R3年度環境経営目標と実績	5
4-1. 環境負荷実績(5年間)	6～7
5. R3年度環境経営計画及びその取組結果と評価	8～10
6. 中期環境経営目標 (R4～R6年度)	11
7. R4年度環境経営目標と計画	12～13
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14～15
9. 地域との融合活動	16
10. 環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練の結果	16
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	17

1. 組織の概要

- (1) 事業者名 伸栄建設株式会社
- (2) 代表者氏名 代表取締役 出雲大俊
- (3) 所在地 静岡市葵区慈悲尾67-1
- (4) 事業内容 建設工事
- (5) 従業員数 28名 (令和4年7月1日現在)
- (6) 環境管理責任者 出雲 大俊
環境管理担当者 石川 文朗
- (7) 連絡先 連絡先 tel 054-278-1833
fax 054-278-1609
E-mail shineikensetu@basil.ocn.ne.jp
- (8) 建設業許可 建設業 静岡県知事許可 (特-30) 第2202号
産業廃棄物収集運搬業 第02201145008号
(自社運搬のみ、受託実績はありません)
- (9) 事業の規模 ①設立 昭和48年2月

②事業規模

活動規模	単位	R1年	R2年	R3年
工事等の件数	件	26	26	25
売上高	百万円	1005	1052	1009
従業員	人	32	32	30
事務所床面積	m ²	333	333	333
資機材置場面積	m ²	1000	1000	1000
工場・作業所等床面積	m ²	650	650	650

- (9) 事業年度 7月1日～翌年6月30日

- (10) 認証、活動の対象範囲

事業活動：国・自治体が発注する建設工事及び
鉄道関連土木工事
対象事業所：本社事務所・倉庫、
資機材置場 (住所：静岡市葵区内牧370-3)



1. 企業理念

希望と理想を胸に後世に誇れるモノを創造する

2. 社訓

凡事徹底 『あたりまえの事を徹底的に実践し一生懸命にやりぬく。』

3. 環境経営理念

伸栄建設の社員一人一人が、「地球の温暖化・資源の枯渇」という事態の現状を重く受け止め、身の回りの、小さなひとつひとつの取り組みを通じ、環境の保全と、資源の有効利用を継続的に実践します。

4. 環境経営方針

- ① CO₂削減のための電気、燃料の使用量削減および、水資源確保のための節水に取り組みます。
- ② 産業廃棄物の分別を徹底し、リサイクル・リユースにつとめます。
- ③ 建設現場においては環境に配慮した工事を実施いたします。
- ④ 設定した経営目標の達成状況および活動計画の進捗状況を定期的に確認・改善し、継続的發展を目指します。
- ⑤ 環境関連法規等の情報収集に努めると共に、法規等の遵守を徹底します。
- ⑥ 社員一人ひとりが環境経営方針を理解し、自主的に取り組めるよう意識の向上を図ります。

制定日 平成24年2月1日

改定日 令和3年8月24日

伸栄建設株式会社
代表取締役 出雲 大俊

代表取締役／環境管理責任者
出雲 大俊

- ・ 経営における課題とチャンスをつまえて環境経営方針の策定、見直しをする
- ・ エコアクション2.1のシステムの確立
- ・ 経営資源の準備（人材・設備・資金・情報）
- ・ マネジメントレビューの実施

事務局：石川 文朗

- ・ 環境管理責任者への報告及び要求事項の実施
- ・ 環境経営レポートの作成・管理
- ・ 従業員との連絡、情報開示

事務所・倉庫
石川 文朗

現場
中村 友重

工事課
山本 剛史

- ・ 事務局と連携し、それぞれの部署にて活動を率先し、成果・問題事項を提起する

事務職員

各現場担当

- ・ 活動計画に基づき、活動を実践し、改善事項を提案する

協力会社

- ・ 当社の活動に協力

4. R3年度環境経営目標と実績

基準値はCO₂のみ売上100万円当りの原単位

CO₂排出係数：中部電力 0.452

項目	単位	R30実績	基準値	R3目標値（基準値-3%）		R3実績		評価	
				実数値	原単位	実数値	原単位		
CO ₂	CO ₂	kg-CO ₂	99,044.3	98.9	96,073.0	95.93	122,897.6	121.74	×
	電力(本社)	kWh	23,072.0	23,072.0	22,610.6		18,387.0		○
	電力(現場)	kWh	(112.0)	(112.0)	(108.6)	参考値	49,151.5		×
	電力(合計)	kWh	23,184.0	23,184.0	22,488.5		67,538.5	(対目標値300%)	
	ガソリン	L	26,942.0	26,942.0	26,133.7		26,212.4		×
	軽油	L	8,706.0	8,706.0	8,444.8		11,241.7		×
廃棄物	コピー用紙	kg	530.0	530.0	514.1		240.0		○
	混合廃棄物	kg	1,404.0	1,404.0	1,361.9		1,430.0		×
上水使用量	m ³	239.00	239.00	231.83		316.00		×	
環境に関するクレーム	件	0	0	0		0		○	
環境配慮施行	環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている 環境にやさしい施工や工法を採用している 元請現場にて100%実施								

※評価

- ・二酸化炭素については現場での電力の使用量の増加によるところが大きい
- ・ガソリンは3%減の目標値に対し2.7%の達成率であった。今後も削減努力を続ける
- ・軽油については現場における使用量の増加のため
- ・上水については畑への散水量の増加による

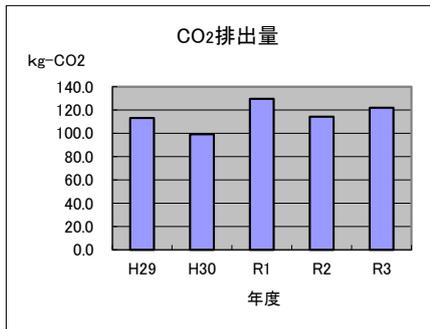
4-1. 環境負荷実績 (5年間)

実績値は売上100万円当りの原単位

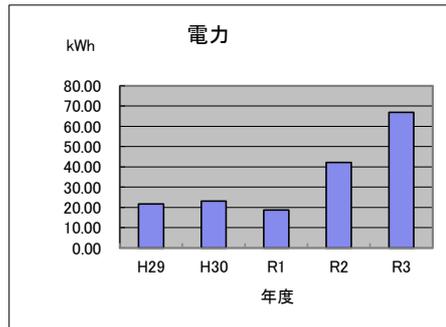
CO₂排出係数：中部電力 0.452

項目		単位	H29	H30	R1	R2	R3
CO ₂	CO ₂	kg-CO ₂	113.1	99.1	129.4	114.19	121.74
	電力	kWh	21.70	23.10	18.70	42.18	66.90
	LPG	m ³	0.0171	0.0315	0.0147	0.0128	0.0150
	ガソリン	L	29.9	26.9	26.7	25.3	26.0
	軽油	L	11.8	8.7	22.2	13.3	11.1
	灯油	L	1.00	0.97	0.67	0.78	0.98
廃棄物	コピー用紙	kg	0.562	0.530	0.513	0.533	0.238
	混合廃棄物	kg	0.51	1.40	1.30	0.82	1.42
水	上水	m ³	0.286	0.239	0.262	0.385	0.313

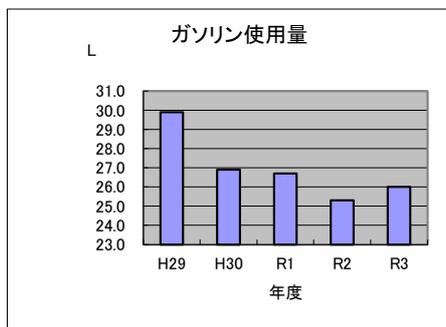
売上100万円当りの実績値



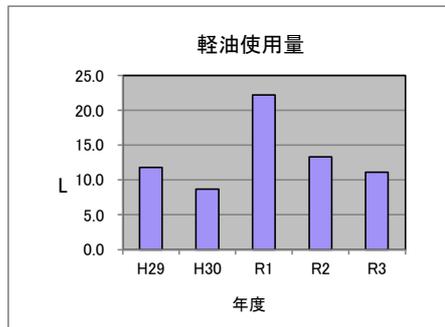
R2→3年度削減率 -6.6%
 ・現場電気、ガソリンの使用量の増力による



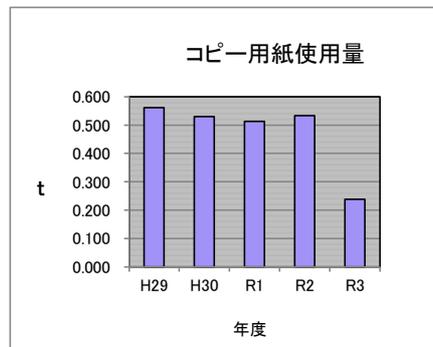
R2→3年度削減率 -58.6%
 ・現場での使用量の増加による



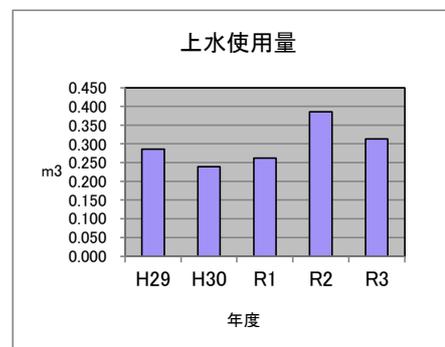
R2→3年度削減率 -2.8%
 ・遠距離の現場が増えたため



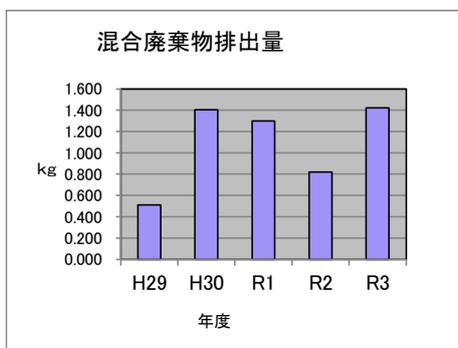
R2→3年度削減率 16.5%
 ・大規模現場の減少のため



R2→3年度削減率 55.3%
 ・提出書類の電子化、大型工事の減少による



R2→3年度削減率 18.7%
 ・こまめな節水等継続する



R2→3年度削減率 -73.2%
 ・ボックスの定期的なチェックをすることで注意喚起を図る

5. R3年度環境経営計画及びその取組結果とその評価

活動計画		担当者	実施事項	取組結果	継続の有無
C O 2 削減	電気使用量削減	石川・小林	・事務所などの照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯	実行できた。	○
			・空調の適温化（冷房28度程度、暖房20度程度）及び使用削減	12月の環境目標として設定	○
			・空調を必要な区域や時間に限定して使用	実行できた。	○
			・使用していない時のPC電源オフ	9月の環境目標として設定	○
			・電気製品の待機電力オフ	実行できた。	○
			・不在時の換気扇使用を止める	応接、給湯室、会議室を重点的に取り組んだ。	○
		現場担当	・現場での点滅灯のソーラー化	元請現場100%実施	○
	燃料使用量削減	全員	・エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしをしない、駐停車中のエンジン停止等）	低燃費の車両の導入	○
			・給油時のタイヤ空気圧チェック	実行できた。	○
			・排ガス規制に適合した建設機械を使用する	元請現場100%実施	○
水使用量削減	全員	・建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行う	実行できた。	○	
		・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行	実行できた。	○	
		・給湯室での水使用量削減	水量を抑えて使用した。	○	
廃棄物削減	紙使用量削減	全員	・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるよう考慮し、残部が出ないように配慮	8月の環境目標として設定	○
			・両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底	実行できた。	○
			・プレビューの活用徹底	5月の環境目標として設定	○
			・古紙としての回収を増やす	8月の環境目標として設定	○

活動計画	担当者	実施事項	取組結果	継続の有無
廃棄物削減	廃棄物処理 全員	・品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底	片付け、商品入替時等を実施した。	○
		・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないで分別する	7月、2月の環境目標として設定。	○
		・事務所の混廃ボックスの搬出回数を減らす。	7月、2月の環境目標として設定。	○
		・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する	7月、2月の環境目標として設定。	○
		・修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している	購入時の確認を徹底した。	○
グリーン購入	小林	・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	コストとのバランスを考慮した上で優先購入した。	○
その他	現場担当	・環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている	元請現場にて100%実施。	○
		・環境にやさしい施工や工法を採用している	元請現場にて100%実施。	○
	石川	・月1回のミーティングにて進捗、改善点等確認	重点目標を中心に気付いた点について注意喚起	○
		・月毎に取り組む重点目標を設定し、安全衛生委員会時に周知する	目標を持ち回りで作成し発表した。	○
		・活動に関する広報スペースを確保し、実施状況、成果など情報を提供する。	掲示板を利用して目標の周知を徹底した。	○

エコキャップの回収



累計個数 16,146 個
令和3年11月25日現在

環境目標一覧

7月	エコドライブ～燃費向上
8月	エアコン効率アップ(扇風機の活用)
9月	時間外労働の削減～電気代節約
10月	衣服による温度調整～エアコン使用量削減
11月	エコドライブ～暖房使用方法の工夫
12月	エアコンの温度調整～暖房20℃
1月	SDG'sを意識した行動を心掛けよう
2月	廃紙の削減～再利用の促進
3月	不必要な電気利用の削減
4月	不良品の削減～生産性の向上
5月	不要な荷物は降ろそう～燃費改善
6月	車エアコンの上手な利用～燃費削減

6. 中期環境経営目標（R4～R6年度）

数値については、CO₂の実績のみ売上100万円あたりの原単位とする。
 経営目標値については、R3年を基準に(※) 令和6年までに-3%とする。
 電力、混合廃棄物については、本社からの排出量とする。
 （現場電力については参考値）

項目	単位	R3実績	基準値	R4経営目標	R5経営目標	R6経営目標	
CO ₂ 削減	CO ₂	kg-CO ₂	122,897.6	121.7	120.5	119.3	118.1
	電力(本社)	kWh	18,387.0	18,387.0	18,203.1	18019.3	17835.4
	電力(現場) ※参考値	kWh	49,151.5	49,151.5	48,660.0	48168.5	47677.0
	ガソリン	L	26,212.4	26,212.4	25,950.3	25688.1	25426.0
	軽油	L	11,241.7	11,241.7	11,129.3	11016.9	10904.4
廃棄物	コピー用紙	kg	240.00	240.00	237.60	235.20	232.80
	混合廃棄物	kg	1,430.0	1,430.0	1,415.70	1401.40	1387.10
水	上水	m ³	316.0	316.0	312.8	309.7	306.5
環境に関するクレーム	件	0	0	0	0	0	
環境配慮施工	環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている 環境にやさしい施工や工法を採用している 元請現場にて100%実施						

※工事内容の変動要因で従来目標と実態の乖離が大きくなったため、R3年度直近実績を踏まえて、新中期目標の見直しと策定を実施

7. R4年度環境経営目標と計画

活動計画		担当者	実施事項	取組内容
C O 2 削減	電気使用量削減	石川・小林	・事務所などの照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する。	応接室、給湯室を重点的に確認する
			・空調の適温化（冷房28度程度、暖房20度程度）及び使用削減	温度設定のチェック・グリーンカーテンの実施・ブラインド [®] の使用
			・空調を必要な区域や時間に限定して使用	こまめに電源を切る
			・使用していない時のPC電源オフ	ミーティングでの注意喚起
			・電気製品の待機電力オフ	業務終了時の電気ポット電源オフ
			・不在時の換気扇使用を止める	応接、給湯室を重点的に確認する
		現場担当	・現場での点滅灯のソーラー化	元請現場100%実施
	燃料使用量削減	全員	・エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等）	毎月の環境目標として設定し、 掲示板他目立つ所に掲示する
			・給油時のタイヤ空気圧チェック	運行記録表にて確認
			・排ガス規制に適合した建設機械を使用する	元請現場100%実施
水使用量削減	全員	・建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行う	現場での注意喚起	
		・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行		
		・給湯室での水使用量削減	水量に注意し、無駄に出さない。	
廃棄物削減	紙使用量削減	全員	・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるよう考慮し、残部が出ないように配慮	コピー機のリセットボタンへ注意を喚起させる シール等貼付
			・両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底	ミーティングでの声掛け
			・プレビューの活用徹底	コピー機周辺でのポップ等による注意喚起
			・古紙としての回収を増やす	ミーティングでの声掛け

活動計画		担当者	実施事項	取組内容
廃棄物削減	廃棄物処理	全員	・品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底	片付け、商品入替時等に実施
			・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないで分別する	元請現場100%実施
			・事業所の混廃ボックスの搬出回数を減らす。	前年度同様1回に抑える。
			・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する	現場に合わせた分別ルールを徹底する。 エコキャップ運動への参加
			・修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している	購入時の確認を怠らない
グリーン購入	小林	・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	コストとのバランスを図りつつ実施	
その他	現場担当	・環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている	現場担当者間で情報交換することにより情報の共有を図る	
		・環境にやさしい施工や工法を採用している		
		・現場での使用電力の削減	現場事務所での無駄をなくす	
	石川	・月1回のミーティングにて進捗、改善点等確認	担当者からの問題提起	
		・月毎に取り組む重点目標を設定し、安全衛生委員会時に周知する	月毎に順番で目標作成者が作成～発表する	
		・活動に関する広報スペースを確保し、実施状況、成果など情報を提供する。	掲示板の内容を四半期毎に更新する	

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

名称	法令等の遵守すべき内容及び規制基準値	実施事項	違反の有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の排出抑制、適正な分別等の処理並びに生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	1. 産廃排出者の義務としての委託契約書の作成 2. 県条例として産廃処分先の現地確認相手の更新の確認 3. 産廃保管置き場の掲示 4. 廃棄物の分別、マニフェストに基づく処理・管理 5. 収集運搬許可の更新(5年毎)	無
循環型社会形成推進基本法	3R(リデュース、リユース、リサイクル)		
資源有効利用促進法	資源の大量使用・大量廃棄を抑制し、リサイクルによる有効利用の促進を図る		
建設リサイクル法	請負金額500万円以上の土木工事において、使用されている建設資材を現場で分別する	契約時の届出	無
騒音・振動規制法 静岡県条例	指定地域内での特定建設作業における届出	自治体への届出	無
地球温暖化対策推進法	大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させ、地球温暖化を防止する	排ガス規制に適合した建設機械を使用	無
大気汚染防止法 静岡県条例	建築物の解体に伴う煤煙、自動車排気ガスに係わる許容限度を定めること等により生活環境を保全する	エコドライブなど運転時における配慮	
グリーン購入法	環境負荷のできるだけ小さいものを率先して購入する	エコマーク等環境ラベルの入った製品の使用	無
浄化槽法	事務所での保守点検、清掃、法定検査	年4回の保守点検及び浄化槽法第11条に基づく年1回定期検査	無

名称	法令等の遵守すべき内容及び規制基準値	実施事項	違反の有無
建設業法	建設業許可の登録・更新	5年毎の更新 (平成30年10月26日更新済)	無
建築基準法、 道路法、河川法 上下水道法	工事基準の順守、 各種申請手続きの適正処理	水質汚濁防止、 道路占有許可の申請等	無
家電リサイクル法	特定家庭用機器（テレビ・ エアコン・冷蔵庫・洗濯機・ 衣類乾燥機）の適切な廃棄	小売店への引取依頼もしくは リサイクル券購入後指定引取 場所へ運搬	無
PCリサイクル法	使用済みのパソコン、 モニターの適切な処理	メーカーへの引取依頼、 回収料金の支払い	無
自動車リサイクル法	使用済み自動車の廃棄	リサイクル料金の支払い、 引取業者への引渡し	無
環境基本法	一般的な自主努力		無
フロン排出抑制法	事業用エアコン、重機付属の エアコンにおける簡易点検		対象外

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

令和4年7月5日確認

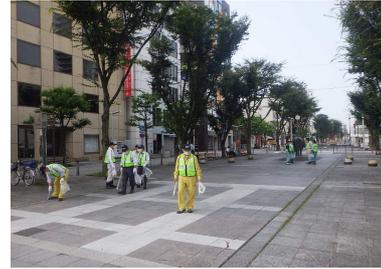
確認者 事務局 石川文朗

9. 地域との融合活動

令和3年7月19日

道路清掃活動

静岡建設業協会が実施した、静岡市職員と静岡建設業協会会員による道路清掃活動に参加した。



令和3年11月21日

流木クリーン祭り

今年19回を迎えた安倍川流木クリーン祭りに毎年参加している。



令和4年6月15日

河川美化清掃活動

静岡建設業協会が実施した、巴川堤防の清掃活動に参加した。

10. 環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練の結果

- 想定される緊急事態

工場内での機械類の破損による燃料の流出

- 対応

オガクズ、吸着マットを利用し流出した油を拭き取る。

実施訓練：令和3年9月1日実施

- 予防策

使用機械類の点検を徹底し、細心の注意をもって油の流出を防ぐ。

- BCPを策定している。

- 災害時の連絡体制として安否コールを導入している。



11. 代表者による総合評価と見直し・指示の結果

		項目	確認	コメント
見直し 関連情報	1	環境方針	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	外部環境の変化によるところが大きい
	3	環境活動計画及び取組状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
	4	環境関連法規等の遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	該当事項については遵守している
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	外部からの苦情なし
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	常に対応できる体制にある
	7	その他	<input checked="" type="checkbox"/>	特になし
代表者による 見直し	<p>去年に引き続きコロナ禍で不安定な社会情勢の中、一人の感染者もなく事業活動ができていたことをまず評価したい。小康状態にあるとはいえ、この先の状況が読めない中、慎重な行動が今後も求められるであろう。</p> <p>今年度については、JR工事の減少分を何とか補い、売上を確保することができた。環境政策については一通りのことはできているため、実績の増減については外部環境の変化によるところが主原因であると思われるが、気を抜くことなくまた相互チェックを怠らないように活動を継続していきたい。</p>			
	項目		変更の 必要性	指示事項等
	1	環境経営方針	無	
	2	環境経営目標・計画	有	R4年度以降の中期目標見直しを実施
	3	環境経営計画・取組項目	無	
	4	環境組織	無	
	5	システム要素	無	
	6	その他	無	

令和4年7月5日

伸栄建設株式会社
代表取締役 出雲大俊

環境コミュニケーション記録

環境上の苦情や要請などは必ず受け付けて、対応し、記録する。

苦情 要望 提案 行政とのやりとり その他

受付日		コミュニケーション先 電話：	
件名		環境管理責任者	報告者
ありませんでした			
内容			
応急対応（応急処置）		環境管理責任者	報告者
		部署責任者コメント	
根本対応（是正処置（再発防		環境管理責任者	作成
		部署責任者コメント	
備考（改善提案などのコメン			

保管：事務局

		承認	作成
		環境管理責任者	事務局
手順書	緊急事態対応手順書		担当部署：事務局
制定：令和2年7月10日			
目的	作業所、工場内での機械類の破損による燃料の流出の場合、緊急対応を適切に行うことにより環境汚染を防止する。		
NO	作業手順	ポイント	
0	(予防) ① 機械類の点検を怠らない。 ② 機械担当者を選任する。 ③ 処理用品を工場内に常備しておく	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前、使用後の点検及び定期点検の励行 ・機械担当者：瀬畑、小林 ・吸着マット、おがくず、オイル処理ボックスを常備し、保管場所にも表示をする。 	
1	(社内連絡) ① 発見者は近くの者がいれば声を掛け応援を要請する。 ② 処理後、環境管理責任者まで連絡をする。 ③ 社内全員で情報を共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ処理を進める。一人の場合でも対応できるよう準備しておく。 ・メールでの連絡、ミーティングでの報告 	
2	(処理方法) ① 燃料の流出元を突き止め、処置ができる場合は応急処置を施し流出を止める。 ② 漏れ出た燃料については吸着マット等を用い処理をする。 ③ 流出の原因を突き止め修理等の対応を行い、今後の発生を防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて点検担当者の指示を仰ぐ ・機械の使用履歴等から発生原因を明らかにする 	
3	(実地訓練及び評価・見直し) ①毎年1回訓練を行い、手順の有効性や訓練の妥当性を確認する。 ②社内ミーティングにて結果報告 直近の実施日：令和2年9月19日 参加5名	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急の場合を想定し、各人が処理用品の保管場所を確認し、実際に燃料を吸着させることで対応できるようにする。 	

※事故発生時・緊急事態対応訓練実施後に見直し、必要に応じて改訂する。

<改訂記録>

版	改訂日	改訂内容・改訂理由

保管：事務局

代表取締役 出雲 大俊

環境管理責任者 中村 友重

副環境管理責任者 勝山 誠也

- ・ 経営における課題とチャンスをつまみ、環境経営方針の策定、見直しをする
- ・ エコアクション21のシステムの確立
- ・ 経営資源の準備（人材・設備・資金・情報）
- ・ マネジメントレビューの実施

事務局 石川 文朗

- ・ 環境管理責任者への報告及び要求事項の実施
- ・ 環境経営レポートの作成・管理
- ・ 従業員との連絡、情報開示

事務所・倉庫
石川 文朗

現場
小林 裕幸・坂下 朋也・山本 剛史

- ・ 事務局と連携し、それぞれの部署にて活動を率先し、成果・問題事項を提起する

事務職員

各現場担当

- ・ 活動計画に基づき、活動を実践し、改善事項を提案する

協力会社

- ・ 当社の活動に協力